

「3. 11を忘れない ―今また、青い鳥を求めて―」

公演事業報告

子どものための舞台芸術創造団体の会
東日本大震災子ども舞台芸術支援対策室
2015ゼロ公演 チーフプロデューサー
森田 勝也

2015年3月28日(土)、29日(日)の両日にわたって、震災支援事業第4回「3.11を忘れない」公演、全労済ホール・スペースゼロを会場に開催し、皆様のご支援とご協力により、無事成功裡に終えることができました。ここに概略ではございますが、ご報告させていただきます。

4年目を迎えるにあたって、この事業の開催も一時危ぶまれることもありましたが、皆さまのご支援とご鞭撻で何とか取り組むことができたこと、そしてまずまずの成功をみたと自負しており、いろいろな意味で今はやって良かったという気持ちでおります。勿論多くの反省や課題も残りましたが、これから支援室全体で検討を重ね、改善できるものはしていかなければと思っております。また、皆さま方からのご助言、問題点の指摘、ご叱責等があればご遠慮なくお寄せ下さい。宜しく願いいたします。

〔3月28日(土)〕17時 開演 観客数214名

1. 特別招聘公演「鹿踊り」 岩手県立花巻農業高校鹿踊り部

・鹿踊り部11名の生徒による演舞は圧巻であった。堂々とした口上と勇猛な踊りは観るものを圧倒し、感動させてくれた。高校生たちが伝統ある鹿踊りに真摯に取り組む姿は力強く、観客と私達主催者にも大きな勇気を与え、幕開けに相応しいものとなった。そしてロビーでの花巻農業高校産の「さんまーぐ」と「さけ焼売」も好評であり、彼等の被災地支援活動の一環とした商品が完売となったことも付記しておきたい。

2. 合同公演 リーディング「魔女の森へ」

・チェルノブイリ原発事故を素材にした絵本「カリーナのりんご」をリーディング用に脚色し、出演者4人での舞台であった。リーディングを中心にしながらも演じるシーンも多く、見ごたえのある舞台であった。カリーナという一人の少女の眼を通して、原発事故の哀しさがバラライカの音色と共に静かに伝わってきた。

3. シンポジウム「子どもたちの声を聴くということ」

・篠原久美子氏をコーディネーターにお願いし、パネラーとして岩川直樹氏（埼玉大学）佐々木豊志氏（くりこま高原自然学校）をお招きし、支援室長・多田純也も加わってのシンポジウムであった。それぞれの体験から、現地の子どもたちの今の声を通して、支援の在り方や、人と人とのつながりの大切さを重視することの大切さが伝わってくる。参会者からの声も好評であり、私たち支援活動の有り様についても示唆にとんだものであった。

〔3月29日（日）〕 12時開演 観客数239名

1. ロビー公演

「おるがん演奏&バルーン」 手廻しおるがん clown シェフ伊とう

・開演前に被災地公演の様子をスライドにて紹介。おるがん演奏が始まると一気に楽しい雰囲気に包まれ、バルーンやマイム、手品のゆかいな舞台で楽しませた

「小人のくつや」 北島愛子 おりがみ劇場

・お客様全員に小人を折ってもらい「こびとのくつや」おりがみの世界に魅了された。

「オテンバまりんかのショータイム」 まりんか

・バランス芸やサーカス芸で会場を沸かせた

上記のようにそれぞれの持ち味を生かしてのロビー公演は、ロビーに一杯の観客も十分に堪能し好評であった。毎回開催されている楽しいプログラムであるが、子どもの観客が少ないのが残念であるという声もあった。

2. 合同公演「今また、青い鳥を求めて」

加盟団体のみならずフリーの方からも出演者を募り、初めて顔を合わせた人たちが、短い練習時間のなかで創りあげた作品であった。出演者の被災地へのそれぞれの思いを共有し、表現しながら形にしていく作業の結晶であり、見ごたえのあるものとなり、多くの観客の涙を誘う舞台となった。そして多くの団体からスタッフを始め稽古場使用や舞台関係機材などの借用させていただいた。たった一回の公演だったが、それぞれの人たちが知恵を出し合い、それぞれの役割を十分に果たし、出し切り、成就感をもって終わることができたと思う。

3. 「ラブ・ユー・フォー・エバー」リーフ企画

・歌とパーカッションとギターの3人編成、絵本を元にした歌声と語りの楽しいステージだった

4. 「ぬくもりの空」青い卵

・クラウンとオペラ歌手のコンビがこの日のためのオリジナルプログラムで上演してくれた。お客様を舞台にあげての二人のやりとりで、会場に笑いが広がった。

5. ジャパンヤングハーツ

・元統一劇場のベテランによる歌声とチクリと風刺のきいたコントが会場を沸かせた。ラストは全出演者と一緒に「翼をください」を歌い、会場が一体となった。

<アンケートより>

28日

- ・鹿踊り素晴らしかった！若い力がみなぎっていて迫力があつた。
- ・「魔女の森へ」素朴なつくりがかえってよかった。カーリーナが森へ行くところが印象的だった。
- ・シンポジウム、考えさせられるものが多くよかった、これからも人のおもいに耳を傾けていきたいです。

29日

- ・どれもこれもすごくよかったです。「今また、青い鳥を求めて」は面白かったし深かったし、ぎゅっとすると消えていくところとか、双児が生まれるところは号泣でした。
- ・リーフ企画、歌子さんの「私の赤ちゃん」心につきささりました。
- ・青い卵、年齢を問わず大うけで面白かった。
- ・ジャパン・ヤングハーツさんの70オパワーにドギモをぬかれました！！コントで大爆笑。メッセージに心えぐられラスト3曲号泣でした。客席と舞台が一つになり元気をもらえました。



[終わりに]

本当に多くの方々のご協力で成り立った公演でした。練習から発表まで手弁当で参加してくれた出演者の皆さん、そして舞台奥で支えてくれた多くのスタッフの皆さん、そしてそんな優秀な人材を快く送り出してくれた創造団体の方々にただ感謝するのみです。無礼や失礼も多々あったかと思いますが、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

また、今回はクラウドファンディングに取り組み、多くの人たちにご賛同していただき成立出来たことが大きな収穫でした。このことが私たちの活動に一層の励みとなった事も加えさせていただきます。

次年度については今後検討していきたいと思っておりますが、この公演で得たものは予想以上に大きく、私たち支援室に課せられた「3. 11を忘れない」という命題を改めて認識させられ、「支援対策室」の責任の重さも受け止めさせられました。

今後とも皆様のご支援とご協力を宜しくお願いいたします。